

おおてみち

第94号

平成28年(2016年)1月1日
滋賀県立安土城考古博物館



□馬頭観音立像(横山神社)



井才天坐像(宝厳寺)

第52回企画展

大湖北展

伊香・浅井・坂田三郡の風土と遺宝

平成28年 1月9日(土) - 2月14日(日)

開館時間…午前9時～午後5時※ただし、入館は午後4時30分まで

休館日…月曜日※月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日

入館料…大人500円(400円)／高大生300円(240円)

※()は20人以上の団体料金です。※「信長の館」との共通券もあります。

※小中生は無料。※障害のある方および県内在住の65歳以上の方は無料。(ただし証明書の提示が必要)

主催…滋賀県立安土城考古博物館 共催…長浜市／米原市教育委員会



近江風土記の丘
滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

企画展示室
第52回企画展

大湖北展

伊香・浅井・坂田三郡の風土と遺宝

一昨年、湖北の観音像を紹介する展覧会が東京上野で開催され、改めてこの地域の歴史的風土と宗教美術に全国から熱い眼が注がれています。そこで、その熱を地元でさらに盛り上げるべく、当館の人気シリーズ「風土と遺宝シリーズ」展の一環として、「大湖北展―伊香・浅井・坂田三郡の風土と遺宝―」を企画致しました。

本展は、県内でもとりわけ特色ある文化遺産を擁する湖北三郡の地域性に、新たな光を当てようとする試みです。この地域の文化財と言え、もっぱら観音像に注目が集まりますが、湖北の文化的特質はそれにとどまりません。そこで本展では、「湖北の神々」、「伊吹山と竹生島」、「観音像と仏教文化の展開」、「戦国の湖北」という四つのテーマごとに主要文化財を取り上げ、湖北の歴史と文化を多角的に展覧いたします。この企画が、湖北地域の魅力を再発見する機会になれば幸いです。

主な展示資料

◎は重文・△は県指定文化財・□は市指定文化財

□男神立像

長浜・山門鳥居堂

△女神坐像・男神立像

長浜・春日神社

◎狛犬

長浜・白髭神社

◎伝聖徳太子像

米原・成菩提院

△獅子頭

米原・伊夫岐神社

◎北斗九星像

長浜・宝蔵寺

◎十一面観音立像
□十一面観音立像

長浜・善隆寺
米原・青岸寺

千手観音像

長浜・浄信寺

金剛薩埵像

米原・観音寺

◎地藏菩薩像

長浜・浄信寺

□不動明王立像

米原・光明院

小谷城跡出土資料

長浜市教育委員会

△浅井長政像

長浜・小谷城址保勝会

阿弥陀三尊像懸仏

長浜・舎那院

博物館講座

1月17日(日) 13時30分

「観音の変容―信仰・美術・そして巡礼―」

講師 当館学芸課

山下 立

1月24日(日) 13時30分

「観音の里 ホトケを守るこころ」

講師 高月観音の里歴史民俗資料館

佐々木悦也氏

1月31日(日) 13時30分

「伊吹山をめぐる文化史」

講師 米原市教育委員会

高橋順之氏

企画協力事業

1月31日(日) 「湖北クルーズ」



◎三月経曼荼羅図(金那院)

公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 整理調査課

未来の考古学者の力作展示 職場体験と一般公開の コラボレーション！

当分室の主な業務は、県内の発掘調査で得た資料を、報告書として刊行していくことですが、地域貢献も重視しています。その一環として、近隣中学校の生徒さんの「職場体験」を毎年受け入れています。

加えて、私たちの仕事を市民の皆さんに間近で見ていただくのも大事な仕事。今年度は、この二つのコラボレーションを試してみました。

今回、職場体験にきてくれたのは近江八幡市立安土中学校二年生の三人でした。体験したのは、一般公開に向けた展示作業です。題して「あなたの知らない整理作業の裏側！」。中学生の目線で分室の作業やそこで使われている道具などをインタビューし、写真等も使いながらパネルを作成してくれました。自分の家族に説明するような丁寧で「手作り感」満載の展示は、九月二〇日(日)に実施した一般公開日でも大好評！中学生、見学者、そして私たち職員も大満足する出来映えになりました。



展示後記

第4回滋賀・大阪博物館連携企画
第51回企画展

よみがえる弥生のムラ 大中の湖南遺跡 発掘五〇年

会期 平成27年7月18日(土)～
9月23日(水・祝)

今回の展覧会は、大阪府立弥生文化博物館と連携して、平成26年に発掘調査五〇周年を迎えた大中の湖南遺跡の発掘調査成果を紹介し、弥生時代のムラの実像に迫りました。

水田稲作に関わる木製農具およびその未製品をはじめ、鍬などの木製農具の製作のための道具、漁労・狩猟に関連する遺物、木偶などの祭祀遺物等、大中の湖南遺跡から出土した遺物を網羅的に展示しました。大中の湖南遺跡出土資料は企画展示室の約3分の2を占めました。さらに弥生時代中期の遺跡である、竜王町堤ヶ谷遺跡、大津市南滋賀遺跡、守山市下之郷遺跡、今市遺跡から出土した遺物を展示し、遺跡の紹介を行いました。

今回の展覧会は、大阪府立弥生文化博物館と連携企画ということで、二千年以上も前の人々の美意識が凝縮されているとも言われる、大阪府立弥生文化博物館に所蔵されている大阪府船橋遺跡の弥生土器もご覧いただきました。

また、かつて滋賀県教育委員会に在籍し、大中の湖南遺跡の調査に関わられた水野正好先生が



第51回企画展会場

作成された「大中の湖南遺跡の保存要望」に関する行政文書も展示しました。筆跡から、真摯に遺跡に向き合い、その遺跡の価値を正しく、かつ高い次元で解明しようとする先生の姿を見ることができました。先生の業績に改めて敬意を払

たいと思います。そして、ご冥福をお祈りいたします。

展覧会期間中には関連講座も行い、諸先生方から考古学的な成果に加え、弥生時代のムラをめぐるさまざまな意見を紹介してもらいました。展示をご覧いただいた方々が、弥生時代のムラのイメージを膨らませ、弥生のムラに思いをはせていただけたのならば、そして、そのような思いに、今回の展示が少しでもお役に立てたのであれば幸いです。

(期間中展示室入館者数 11,419人)

イベント後記

「子ども学芸員」

—文化財を見て、触って、学芸員を体験!—

「子ども学芸員」は、8月2日(日)と7日(金)の2日間行いました。テーマは「考古学者になろう!」で、小学6年生と中学生の計5名の「学芸員」が誕生しました。

1日目は午前中、企画展の見学、大中の湖南遺跡から出土した土器の洗浄、午後は、近江八幡市円山町の西川嘉右衛門家と大中の湖南遺跡の見学。2日目は午後から、1日目に洗浄した土器の接合・観察を行いました。

西川嘉右衛門家は、織田信長の時代の古文書も伝わり、代々ヨシの卸売業が営まれていた旧家です。滋賀県立大学の濱崎一志先生のご協力により、普段は見ることができない、蔵などの調査の様子を見学させていただきました。

参加した子どもたちは、貴重な体験ができたことと思います。博物館ではこれからも、子どもたちが本物の文化財を体験できるイベントを予定しているので、ご期待下さい。



子ども学芸員 西川嘉右衛門家 調査見学

博物館の主な催し

			企 画 展 示 室	第1常設展 展示 室
1 月	10日(日)	連続講座 秀吉の城 最新情報①「信長の城・秀吉の城」 講師:中井均氏(滋賀県立大学教授) 13時30分～【有料】	第52回企画展 「大湖北展—伊香・浅井・坂田三郡の風土と遺宝—」 1月9日(土)～2月14日(日)	「蔵骨器と経筒」 トピック展示 1月8日(金)
	11日(月・祝)	体験学習 「忍者になってみよう!」 13時30分～【要予約・有料】		
	16日(土)	連続講座 淀川水系の中期古墳⑤「亀岡盆地と丹波の中期古墳」 講師:土井孝則氏(亀岡市文化資料館) 13時30分～【有料】		トピック展示 「湖北の古墳」 1月9日(土)～3月31日(木)
	17日(日)	企画展講座 「観音の変容—信仰・美術・そして巡礼—」 講師:山下 立(当館学芸員) 13時30分～【有料】		
	23日(土)	連続講座 秀吉の城 最新情報②「幻の伏見城」 講師:福島克彦氏(大山崎町歴史資料館館長) 13時30分～【有料】		
	24日(日)	企画展講座 「観音の里 ホトケを守るころ」 講師:佐々木悦也氏(高月観音の里歴史民俗資料館) 13時30分～【有料】		
	30日(土)	連続講座 淀川水系の中期古墳⑥「琵琶湖周辺の中期古墳」 講師:細川修平(当館学芸課長) 13時30分～【有料】		
2 月	31日(日)	企画展講座 「伊吹山をめぐる文化史」 講師:高橋順之氏(米原市教育委員会) 13時30分～【有料】		
		遺跡探訪(クルーズ) 湖北クルーズ		
	6日(土)	連続講座 秀吉の城 最新情報③「復原! 聚楽第」 講師:馬瀬智光氏(京都市文化市民局芸術都市推進室) 13時30分～【有料】		
3 月	14日(日)	体験学習 「忍者になってみよう!」 13時30分～【要予約・有料】		
	15日(月)～26日(金)	メンテナンス休館		
	5日(土)	連続講座 秀吉の城 最新情報④「天空の城 竹田城」 講師:田畑 基氏(朝来市埋蔵文化財センター館長) 13時30分～【有料】	第53回企画展・琵琶湖文化館収蔵品特別陳列 2月27日(土)～3月31日(木)	
3 月	19日(土)	連続講座 秀吉の城 最新情報⑤「秀吉の城・ザ近江」 講師:木戸雅寿氏(滋賀県教育委員会) 13時30分～【有料】		
	26日(土)	企画展講座「表現された神仏習合—神か、仏か、それとも…—」 講師:山下 立(当館学芸員) 13時30分～【有料】		

※講座の会場はすべて当館セミナールームです。※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

おおてみち 第94号
平成28年(2016年)1月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL0748-46-2424
E-mail: gakuhei@azuchi-museum.or.jp URL: http://www.azuchi-museum.or.jp